

パラスポマガジン創刊

日本財団

日本財団パラリンピックサポートセンターは6月12日、障害者スポーツをテーマにしたグラフィックマガジン「GO Journal」を今秋創刊すると発表した。写真家の蜷川実花さんが監修。パラアスリートの撮り下ろし写真とインタビューを掲載する。

部数は3,000部で、価格は無料。A3サイズ、24ページ以上を予定している。ネット上でも公開する。

今回パイロット版として創刊された0号では、リオ大会陸上女子400メートル銅メダリストの辻沙絵選手を取り上げた。

鮮やかな衣装に身を包んだ辻さんのカットとともに、これまでの競技人生などについてのインタビューが盛り込まれている。

第1号は、ボッチャ日本代表の高橋和樹選手を取り上げる予定。同センターは「障害者はかわいそうという先入観を揺さぶり、2020年（東京オリンピック・パラリンピック）以降のインクルーシブ社会の発展に向けたトリガー（きっかけ）となれば」としている。

（福祉新聞・第2816号 2017年6月26日）